

① ・戦争は、昔のことではないのです。・自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、それは、強さとは言えません。・本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとする事です。・本当の強さを持てば、戦争は起こらないはずです。・過去に起こったことを変えることはできません。しかし、未来は創ることができます。・悲しみを受け止め、立ち上がった被爆者は、私たちのために、平和な広島を創ってくれました。・今度は私たちの番です。・被爆者の声を聞き、思いを想像すること。・その思いをたくさんの人に伝えること。・そして、自分も周りの人も大切にし、互いに助け合うこと。

平和への誓い 令和4年8月6日 子ども代表

広島市立幟町小学校6年バルバラ・アレックス 広島市立中島小学校6年山崎鈴

② 相田みつを「セトモノ」

“セトモノとセトモノと ぶつかりっこすると すぐこわれちゃうどっちか やわらかければ だいじょうぶ やわらかいところを もちましよう そういうわたしは いつもセトモノ ”

③

今、出家の人として、即ち仏家に入り、僧道に入らば、すべからくその業を習ふべし。

その儀を守ると云ふは、我執を捨て、知識の教えに随ふなり。その大意は、貪欲無きなり。貪欲無からんと思はば先づすべからく吾我を離るべきなり。吾我を離るるには、観無常是れ第一の用心なり。

〔正法眼蔵随聞記〕二―二 ちくま学芸文庫 水野弥穂子訳 71頁

④

いま、こい